

東京大学物性研究所 液化室だより

e x 5904

【重要連絡】

◎都庁立入検査によるヘリウム供給日の変更

来る6月12日(月)、高圧ガス取締法にもとずく東京都の立入検査が行われることになりました。当日は液体ヘリウムの供給日となっていますが、この日は供給を中止し、代わりに14日(水)に供給することにしました。また、検査を受けるにあたって設備の整備・点検、塗装、周辺の清掃等もおこないますので、ご協力をお願いします。

ヘリウム供給日の変更

6月12日(月)中止→6月14日(水)に供給

なお、以下の点についてもご協力下さいますよう、お願いします。

※

※

1. 液体窒素の汲み出しは午後1時から検査終了まで中止します。また、L棟、C棟への窒素ガスも同様とします。
2. 当日はヘリウムガスポンベの貸し出し、返却の業務は致しません。前日または翌日をお願いします。
3. 廊下にはポンベを出さないようにして下さい。やむを得ず廊下に出すときは鎖、ロープ等でしっかり固定して下さい。
4. 当日はヘリウムの実験は極力控えて下さい。検査中に回収用圧縮機が作動すると大変危険であり、検査の妨げとなります。(本来なら検査の対象となっている圧縮機は、作動しないよう電源を切らなければならないことになっています。)

※

※

【重要連絡】

◎ヘリウムガスポンベの注文書は直接液化室へ
(6/1から)

液化室からヘリウムガスポンベを貸し出す場合(通常の高圧ガス純度99.99%)、一度用度掛に赴き、注文書の発行を受けてから液化室に来ることになっていましたが、6月1日(木)からは直接液化室に来ていただき、備え付けの注文書に必要事項を記入したうえでポンベを引き渡すことになりました。(所員の印鑑またはサインはいりません。)

◎高圧ガス保安教育(新人対象)に55名参加

去る5月11日に行った今年度の高圧ガス保安教育(新人対象)は、物性研、生研合わせて55名

の参加となりました。講習会では高圧ガス関係の法律や、実際の取り扱い、液化室を利用するにあたってのさまざまな取り決め等について話をしましたが、高圧ガスによる事故も他の事故と同じように一瞬の気のゆるみから起きることが多いのですが、しかし、事故の規模は時には計り知れないほど大きくなることもあり、損害も多大となります。

今後は経験を積み、よりいっそう高圧ガスの安全な取り扱い方を身につけて下さるよう、お願いします。

【重要連絡】

お 知 ら せ

5月31日(水)午前9時～6月1日(木)午前9時までの24時間、液体窒素貯槽の断熱性能テストを行いますので、液体窒素の汲み出しはできません。また、L棟・C棟の窒素ガスも使用できませんので、ご注意ください。